

京都駅東部エリアのポテンシャルと課題、まちづくりの方向性について

1. 位置付けと周辺との関連

ポテンシャル 1	【課題 1】
<p>○京都市の玄関口としての立地特性</p> <p>○隣接する西部エリア、東南部エリアの特性や取組との連動性</p> <p>○芸術系大学や、文化芸術施設の集積など、文化芸術や伝統工芸分野における、教育、研究、交流に関わる多様な創造活動機能や人材の存在</p> <hr/> <p>【第1回検討委員会意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都駅からも近いし、非常に立地がいい。 ・京都で唯一、土地が残っているエリアが京都駅周辺である。 ・個性のあるものをつくって、それが集まって重層的な京都らしさみたいなものができている。 <div data-bbox="519 777 1513 1018" style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>【地域の方から出されたご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下京渉成小学校区の5学区は、「京都市立芸術大学を核とした崇仁エリアマネジメント」を設置して、連携を進めているが、他の学区とも連携を進めるために、各学区が共有できる身近な目標を立てて、できることからまちづくり活動を進める必要がある。 ・鴨川を挟んで向かい合っている学区とも一緒にまちづくりに取り組みたい。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ●京都駅東部エリアの独自性の打ち出し ●隣接する西部エリア、東南部エリアをはじめ、他のエリアとの役割分担や、連携・協調 ●京都市全体の活性化に寄与 <hr/> <p>【第1回検討委員会意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東南部エリアや西部エリア、色々なエリアの周りとのようにつないでいくか。 ・色々な場所で起こっている出来事がつながっていくような広がりを持った、人が動きやすい環境をうまく計画できていければいい。 ・京都にしかできないもの、オンリーワンのものをつくってほしい。 ・ビジョンは、住民の活動、商店街の活動など、色々なものとリンクし、みんなのものとして、自分のこととしてやっていかないといけない。

2. 人口・高齢化・コミュニティ

ポテンシャル 2	【課題 2】
<p>○エリアの一部においては人口増加</p> <p>○崇仁学区における活用地（市有地）利活用の可能性</p> <p>○「崇仁新町」など新しい賑わい創出の動き</p> <p>○「京都市大学のまち交流センター」、「ひと・まち交流館京都」などの地域の活動拠点となる公共施設</p> <p>○地域が主体となったコミュニティ活動</p> <p>○芸術系大学等との交流や協働によるまちづくり</p> <hr/> <p>【第1回検討委員会意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都の持つ様々な多様性、多義性が重要。 ・人が資源で、人的資源が集まって対話の中で新しいクリエイションや、リノベーションが生まれる。 ・空き家の所有者を把握し、例えば、芸大の学生が住む場所や、高齢者と若者とシェアハウスみたいなホームシェアができないか。 <div data-bbox="519 1827 1513 1953" style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>【地域の方から出されたご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅の活用などにより、このエリアに若い人を呼び込む工夫が必要である。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ●人口減少、高齢化の進展への歯止めと一部人口増加エリアのポテンシャル活用 ●崇仁学区の将来活用地（市有地）利活用の検討 ●空き家への対策についての検討 ●本エリアの持つ独自の個性を活かしたまちづくり活動と地域コミュニティのさらなる活性化 <hr/> <p>【第1回検討委員会意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人をはじめ、多様な人が集まってくるエリアにしていく必要がある。 ・新旧の住民の交流の場づくりみたいなものも併せて考えられるといい。 ・滞留と定住をどうマネジメントしていくかが重要。 ・崇仁学区のフェンスで囲まれている場所の活用を議論すべき。 ・空き家・空き地をどうするかというのは相続の問題を含め、大きな課題。空き家が増えるほど、地域は廃れていって防犯上も課題になる。 ・関係人口を増やしていきながら、人がこのまちにつながっていくこと目指す視点が必要。 ・地域の様々な人が集まって、様々なことを話し合えるような場所、拠点ができればよい。 ・まちづくり活動や市の計画などを若者に向けて情報発信していくことが大事。 <div data-bbox="1869 1806 2864 1953" style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p>【地域の方から出されたご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺の住民が利用できる生活利便施設を崇仁学区内に誘致してほしい。 </div>

3. 文化・芸術	
ポテンシャル3	【課題3】
<p>○京都市立芸術大学・銅駝美術工芸高等学校・京都美術工芸大学や文化芸術分野等に携わる人材の存在</p> <p>○芸術系大学等の移転、施設整備による周辺の都市景観の向上</p> <p>○工房やアトリエ、伝統産業の事業所などの多数の文化芸術に関連する施設等が立地</p> <p>【第1回検討委員会意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・崇仁学区や京都駅東部エリアを、文化芸術のコアとしていくべき。大学があるというのは重要。 ・クリエイターたちが集積していくという動きが見られるようになってきている。 ・芸術系大学の学生が、例えば、空き家をステーションやサテライトとして活用することにより、コミュニティとの連携の場やネットワークが期待できる。 ・東部エリアは、学生がプロのアーティストとして育つために必要な、学び、定住し、制作活動をし、発表する、そういった学びから歴史的に継承されていくまでの施設や環境が、ある意味、全部そろっているエリアである。 <div style="border: 1px solid #90ee90; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【地域の方から出されたご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸大との連携を通じて、文化や歴史、自分たちの誇りなどを発信していきたい。 ・芸大が地域に開かれていることや、その周辺も含めて、バリアフリーとなっていることが大事である。 </div>	<p>●地域資源の活動等の「見える化」や情報発信</p> <p>●地域資源間における、エリアの将来像の共有や緩やかな交流を図るなど、今後のさらなる活性化に向けた新たな対応</p> <p>【第1回検討委員会意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちが持っている文化と歴史、それから人々が、どのように継承しながら、このまちをつくり上げていくか。 ・文化芸術や宗教などの様々な施設の集積のポテンシャルを活かすべき。 ・文化ゾーンと古いまちが、文化の薫りを残し、よいまちに向いていってほしい。 ・創造的な活動を地域の人たちが一緒になってできるようなまちができればよい。そのための取組を進めている。 ・大学の中に、コミュニティの人たちが入る場ができたり、ネットワークができるといい。 <div style="border: 1px solid #90ee90; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【地域の方から出されたご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域が芸大と一緒にまちづくりに取り組んでいく。 </div>
4. 集客・観光・潤い資源	
ポテンシャル4	【課題4】
<p>○京都の玄関口・京都駅の立地と市内観光地等への充実した交通網</p> <p>○京都駅周辺界隈の大型商業施設や集客施設、宿泊施設の集積と七条通沿いの商店街の存在</p> <p>○西本願寺、東本願寺や三十三間堂、豊国神社、京都国立博物館など、寺院・神社や文化・観光資源が多く立地</p> <p>○鴨川、高瀬川などの京都を代表する潤い資源</p> <p>【第1回検討委員会意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都には東山という、まさに京都の観光を代表する地域がある。 ・下京区には東西本願寺のほかにも、本山となっている、大きなお寺がたくさんあり、具体的に連携すれば、更なる活性化が期待できる。 <div style="border: 1px solid #90ee90; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【地域の方から出されたご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・崇仁新町など、市有地の活用により、新たな人を呼び込む工夫が必要である。 </div>	<p>●京都駅周辺や東山の文化エリアの立地環境や鴨川等の潤い資源を活かした、回遊性の向上や賑わいの創出</p> <p>●観光と市民生活との調和</p> <p>【第1回検討委員会意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いかに人を滞留させるか。 ・東山という、まさに京都の観光を代表する地域に向けて、このエリアが、どういう役割を担うべきなのか。 ・いかに市民と調和した、持続可能な観光を目指していくかというのが大きなテーマ。 ・観光客が多いため、地域の者が七条通でバスに乗ることは困難。 ・「歩けるまち京都」として歩けるまちをサポートするようなモビリティを考えていく必要がある。 ・さまざまな資源をつないでいくことが重要。 <div style="border: 1px solid #90ee90; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【地域の方から出されたご意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高瀬川を活かして、南北をつなぐまちづくり活動ができるのではないかと。 </div>



ポテンシャルと課題から導かれるエリアの目指すべきまちづくりの将来像へ